

「管路更生大学」公開デモ施工見学報告

非開削技術編集室

11月4日(金)、日本大学生産工学部津田沼キャンパス 39号館北側広場にて「管路更生大学」のデモ施工が開催されました。

この「管路更生大学」は、社会のニーズに合った下水道技術者の育成を目的として、日本大学生産工学部土木工学科が、東京都下水道サービス(株)と(一社)日本管路更生工法品質確保協会に呼びかけ、3者間で協力協定を結び開催している講義となります。管路更生工法の基礎知識を学ぶ3回の座学とデモ施工から成っており、2017年度から始まって今回で6回目の開催となりました。

「管路更生大学」は、同大学の地域貢献活動の一環としてデモ施工見学を自治体にも門戸を開いており、本学の学生や教員の方々のほか、自治体の職員の方々も参加しました。

「アルファライナーH工法」「オメガライナー工法」「SPR工法」の3つの工法のデモ施工を、3グループずつに分かれて、それぞれの工法の見学を順番に行いました。

アルファライナーH工法のデモでは、プラスチック樹脂を光で固める様子を見学しました。「UVライトの中にテレビカメラがついていて、モニター確認ができるため、シワや出っ張りも見つけやすく大きなトラブルも起きにくい」「気温が高くて低くても、同じ施工時間で行える」という特徴があるそうです。ジ

オラマなどを用いた管路の説明が印象に残りました。

オメガライナー工法は、日本大学生産工学部のOBの社員の方による説明がありました。この工法は小さい管路に対して使えるということ、蒸気で加熱して柔らかくするという特徴などの説明がありました。

SPR工法も、日本大学OBの方による説明がありました。今回のデモは、アルファライナーH工法とオメガライナー工法は「自立管」なのに対して、SPR工法は「複合管」の工法であるという説明がありました。複合管の製管工法には「元押し式」「自走式」があり、今回は「自走式」の工法とのことでした。

学生達は各工法のデモを熱心に聞き入り、メモをとったり、管内部を眺めるなど興味深く見学する姿が印象的でした。



アルファライナーH工法見学の様子



オメガライナー工法見学の様子



SPR工法見学の様子